

2005 「女性の学習の歩み」 実践・研究レポート 募集

これからの女性のエンパワーメントをすすめるため、女性の生き方や活動をジェンダーの視点で振り返り、社会・地域・家庭の中で葛藤や障壁を乗り越えてきた過程を女性の教育・学習の歩みとしてまとめた実践・研究レポートを募集します。

◎女性の教育・学習活動（女性運動・市民活動・職業生活・学級やグループでの学習活動等を通じての成長、自分史、個人史など）の歩みを考察したものであること

◆応募の条件

1. 未発表のものであること
2. 使用言語は日本語であること
3. 原稿字数（年表・図表を含む）
横書き16,000字～22,000字
A4判 ワープロ40字×30行または400字詰原稿用紙
4. 原稿は郵送のこと（Eメール・FAXは不可）

※表紙に、実践及び研究テーマ、氏名、住所、電話番号、職業、年齢を明記

◆応募資格

趣旨に関心をもつ個人およびグループ（性別・国籍を問わず）

◆締め切り **2005年9月30日（金）**（当日消印有効）

◆入選レポート 入選1篇，佳作2篇以内

◆研究奨励金 入選20万円 佳作5万円

◆選考委員 國信 潤子（愛知淑徳大学ビジネス学部教授）

江刺 昭子（女性史研究者）

小林 繁（明治大学文学部教授）

◆報告会 2006年2月開催予定

◆応募・問い合わせ先 本財団学習事業課

2005 フォーラム「女性と学習」 ご案内

社会づくりの大きな力となっているさまざまなグループや団体の活動を“実践するコミュニティ”にとらえ、個人と組織の力量形成の視点から、個人へのエンパワーメントと組織の発展の関係について、研究討議します。ここのコミュニティは、地域的に限定されたものではなく、あるテーマをもって持続的につながった人々の集団や組織を指します。

◆テーマ **学習観の転換が「活動」を変える
—実践する学びと組織をめざして**

◆開催日時 **2005年9月9日（金）・10日（土）**

◆会場 港区立男女平等参画センター・リーブラ

◆参加者 100人

◆参加費 7,000円（ただし、港区在住・在勤者は5,000円）

◆申込・問合せ先 本財団学習事業課

※後援：港区／財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団

◆主なプログラム内容

- パネルディスカッション
「学び合い、育ち合いの“実践するコミュニティ”」
- 基調講演「学習観の転換」
佐伯 胖（青山学院大学文学部教授）
- ワークショップ

◆学習支援者

相川 康子（神戸新聞論説委員／NPO政策研究所理事）
亀田 温子（十文字学園女子大学 社会情報学部教授）
安田 順（教育コーディネーター／中小企業診断士）